

いっぺかだれやなまち浜益を目指して

浜益の背景と課題

- 人口減少と高齢化：人口約1000人、高齢化率55%を超え、地域の担い手が減少している
- 地域資源の豊かさ：海、山、川に囲まれた豊かな自然と「陸の孤島」が育んできた文化や暮らしの知恵が息づいている

基本的な考え方

個性を活かしたひとづくりの「縦」とつながりづくりの「横」による共助のまちづくり

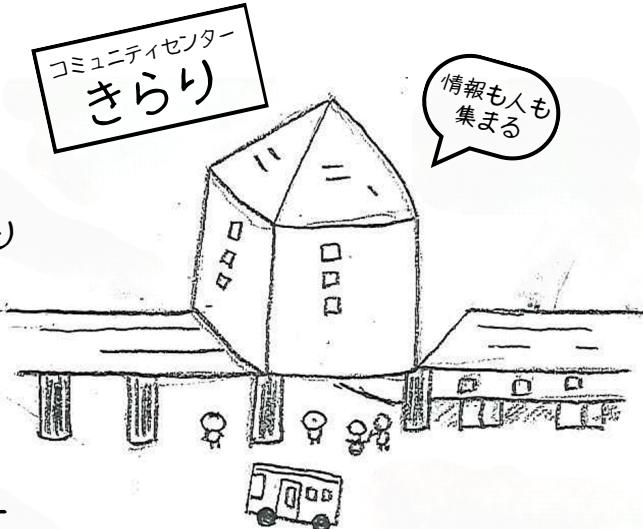
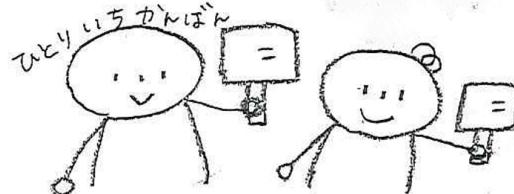
『いっぺかだれやなまち浜益』



実践の方向性

①一人一看板方式

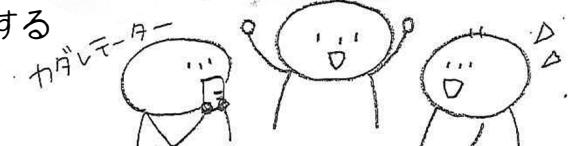
「わたしは〇〇ができます」を宣言し、誰もが役割を見つけ、まちづくりに参加する機会を創出する



②つながりを作り出す

「カダレーター」

浜益に関わる人たちが集まり、つながりづくりを推進するための役割(カダレーター)として活躍できる機会を創出する



③関係人口から

担い手人口へ

まちづくり研修会に参加後、地域の役割を担う関係人口を「担い手人口」としてカウントする

目指すまちの姿

- ①生涯主役で誰もが役割をもつまち
- ②みんなで集まって解決・創出するまち
- ③歴史や自然が育んだ循環型の暮らしを大切にするまち

将来像

「いっぺかだれや憲章」の精神を基に、地域住民に担い手人口(関係人口)を加え、1000人程度の活力が維持されている状態を目指す。

2025年

- ・地域人口：977人(R7.9)

2035年

- ・地域人口：600～800人
 - ・担い手人口：200～400人
- =1000人の活力あるまちを維持

住民も関係人口も一緒に

